

平成31年度（令和元年度）小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 陽翠水	代表者	仲井培雄	法人・事業所の特徴	ケアマネ、介護士、看護師の各専門職が連携し、通い・泊り・訪問のサービスを柔軟に組み合わせることで利用者の在宅生活を支えていくことを目指しています。また、通いでは個別活動に力を入れ、訪問では安否確認から身体介護まで提供することで、自分らしく生活できることを支援いたします。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 コミケア緑が丘	管理者	菅原理絵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	5人	0人	7人	1人	人	3人	人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	評価する際に少々わかりにくいという意見が多かったため、記載時の工夫は必要。運営推進会議の際にも詳細に説明していく。また、職員の日頃の取り組みも知ってもらうための説明、事例で分かりやすく小規模多機能としての取り組みも伝えていきたい。	専門用語がわかりにくかったという意見が多かったため、わかりやすく伝える工夫は必要だった。職員の状況や取り組んでいる内容は伝えられたと思う。	スピーチロックは意味が分からなかったので自分で調べた。実際に会った苦情の内容がもう少し具体的に書いてあるとわかりやすいと思う。	今後は事業所内の取り組みをはじめ、どのような施設で、職員はどのような思いで日々取り組んで対応しているのか、まずは年6回の運営推進会議の参加者に伝わるような開催内容にすることで評価の際には評価しやすくなると思う。
B. 事業所のしつらえ・環境	臭いや不快な音というよりも、施設内を知らないという意見が多かった。整理整頓はもちろんだが、まずは施設内を知っていただく工夫や取り組みが必要。行事などを開催し、内部を気楽に見ていただけるようにしていきたい。またこども110番も地域の方にわかりやすく掲示していくことも必要。	施設内に地域の方が出入りする機会は年末の餅つき大会と毎月の慰問の方々のみである。現状の機会は継続していくことと、今後は地域の方や家族の方に対しての企画を実施していく必要がある。	施設内に入る機会がないのでわからないと言う意見が多い。見た感じの掃除は行き届いていると感じる。学童があり小学生の通学路にもなっているが、歩道を挟んでおり出入りはしにくい。	施設内の環境を知らないという意見が多かった。整理整頓はもちろんだが、まずは施設内を知っていただく工夫や取り組みが必要。行事などを開催し、内部を気楽に見ていただけるようにしていきたい。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方が誰でも相談しやすい場所を目指すというのは現状難しい。しかし地域の方の身近な存在となることは可能であり、緑が丘地区の行事等の参加を増やし、顔の見える関係を作っていく。	緑が丘地区の行事への参加は多くできなかったが、ほっこり祭りの企画運営の方が声をかけてくださり参加できた。緑が丘のお祭りや行事への参加は意識して行っていきたい。	地域の行事やイベントに関しては、町内の防災訓練などに参加したらいいと思う。先日は芳珠記念病院と連携し町内の災害訓練を実施した。	緑が丘地区の行事等の参加を増やし、顔の見える関係を作っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	事業所としての地域(緑が丘)、利用者が住む地域、それぞれの地域での会議や行事に利用者や参加していく機会を設ける。その中で、地域の心配な方の相談があれば、適切な窓口を紹介していく。また企画を通して外出し地域へ出かける取り組みを増やしていく。	事業所としての地域に出向く機会は持てなかった。利用者が住む地域に出向く支援は数人だが実施できた。	地域の方との交流や、行事イベントとあるが、職員が不足している中で対応できるものなのか	事業所の企画イベントによる外出は継続して行っていくが、利用者の誕生日企画としての外出も取り組んでいく予定。地域の行事やイベントは、積極的に参加していく。

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>小規模多機能の利用者の関りの事例報告会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の困りごとを共有できる場(会議等)への参加。 	<p>運営推進会議内で事例検討会という機会はできなかったが、どのような施設でどのような方が利用し、職員がどのような対応をしているのかといった話をする機会は増えた。地域側にも施設側にも個人情報の限界はあるため詳細な共有は難しいが、お互いの状況や困りごとは共有できたと思う。</p>	<p>事例検討会や介護教室のようなものを開催し、交流の機会を通じて地域住民の役に立てることも行っていきたい。その際には緑が丘会館を活用してほしいとの意見あり。</p>	<p>事例検討会という開催ではないが、利用中の方の事で議題に上がることもあった。</p> <p>介護保険制度、介護保険施設とはどういところで、どのような方が利用できるのかという質問も多かったことから、個人情報特定されない範囲でより具体的に検討する場となることも大切である。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>地域の防災訓練に参加する。事業所の避難訓練の詳細を地域住民に知ってもらう。</p> <p>地震想定の実施する。</p>	<p>地域の防災訓練への参加はできなかった。事業所の訓練内容は報告できている。</p>	<p>能美市危機管理課が鍋谷地区で防災訓練を実施。</p> <p>地域を限定した出前講座などがあるとよい。</p> <p>AEDの講習も定期的に行っていきたい。</p> <p>自主防災組織について。</p> <p>地震時と火災時では避難方法が異なるため、両方の実施を目指す。</p>	<p>地域の防災訓練には積極的に参加するよう努める。</p> <p>事業所の避難訓練詳細を地域住民に知ってもらう工夫をする。</p> <p>災害時は事業所ではなく法人として地域の方と関ることが必要になってくる。その際の動きは職員一人一人が把握し、地域の方に示していけるとよい。</p>